

# “令和四年敬念寺報恩講法要厳修”

～皆様のご参拝お待ちしております!～



昨年の報恩講法要：菊鉢で皆様をお迎えした境内のようす(3.11.14)



発行所  
岡谷市郷田一丁目6番3号  
TEL(0266)22-2524  
金松山 敬念寺  
発行  
敬念寺門信徒会  
編集  
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや  
彼(か)の人との  
出会(であ)いの時間

## 本年の報恩講法要について

慈光のもと、門信徒の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと思います。

今年も、宗祖親鸞聖人の御命日をご縁とする報恩講法要の時期が近づいてまいりました。

新型コロナウイルス感染の状況が落ち着いてきておりますが、本年の報恩講法要も予防対策に万全を期すべく、法要・報恩講関連行事を縮小・制約して開催することとなりました。

感染予防の対策を取ってお勤めいたしますので、皆様お誘い合わせてご参拝下さるようお願いいたします。

敬念寺住職 釋 宏真

## 敬念寺報恩講法要の御案内

本年の報恩講法要も、新型コロナウイルス感染予防に万全を期すべく、関連行事等の内容を縮小・制約して計画しています。

大切な報恩講法要に大勢の皆様がご参拝下さるようお願い申し上げます。

(四ページに別途案内記事記載してあります。)

★法要出勤僧侶の限定・・・松本組内の僧侶方の出勤はありません。

★法話(布教使)

★お斎(お食事)無し

(受付にてお持ち帰り用御酒・参拝記念品をお渡しします。)

★コールガンダーの仏教讃歌コーラス無し

★門信徒作品展は山野草、菊花

(一般作品の展示募集無し)

門信徒会長 千原 博幸

## ご寺院行事

- 11月13日(日) 報恩講法要 前10:00
- 1月1日(日) 元旦会(法要) 前7:00
- 1月16日(月) ご正當法要(新年初まいり) 前10:00
- 3月21日(火) 春の彼岸法要 前10:00

## ご定例法話会

- 11月20日(日) 講師 義本弘導先生(大阪府)
- 12月20日(火) 講師 雲林重正先生(新潟県)
- 1月20日(金) 講師 (未定)
- 2月20日(月) 講師 (未定)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。



## 報恩講について

— 当寺のお知らせチラシから —

報恩講とは、宗祖・親鸞聖人の御命日(※①)を御縁として聖人のご苦勞を偲び、そのご恩に報いるようお念仏をよりいっそう味わわせて戴こうということからつとめられる浄土真宗にとつて最も大切な法要です。親鸞聖人は、阿弥陀仏の大きな慈悲に包まれた本願念仏の教えが、私たちの救われるただ一つの道筋であることを明らかにして下さいました。私たちが現在こうしてみ教えに遇うことができるのは、親鸞聖人のご苦勞によるものなのです。

報恩講では親鸞聖人を讃える法要(※②)、法話に続き婦人部の方々が心を込めて調理される食事(お斎/おとき)を戴きます。(昨年に続き今年も、新型コロナウイルス感染予防のため提供を中止させていただきます。)

(※①) 一月十六日

(※②) 表白(住職)

正信念仏偈(行譜による)  
和 讃

— 全国の浄土真宗のお寺でお勤めされている「報恩講」に皆様も是非ともお参りしましょう —

— 本山の「御正忌報恩講法要」 —

一月九日～一月十六日

## 教化委員会から

親鸞聖人御誕生八百五十年  
立教開宗八百年慶讃法要

令和五年に本山・西本願寺で厳修される慶讃法要は五期、各六日間の日程で行われます。

1 期	3/29 ~ 4/3
2 期	4/10 ~ 4/15
3 期	4/24 ~ 4/29
4 期	5/6 ~ 5/11
5 期	5/16 ~ 5/21

— 慶讃法要への敬念寺  
団体参拝について —

コロナ禍にあつて今回の団体参拝の募集枠が少ないこともあり、当寺での団体参拝は確保することが出来ませんでした。

本山参拝をメインに「研修親睦旅行」計画の発表を心待ちにされている方もおられますが、今回の慶讃法要への団体参拝実施は困難となつていきます。

各般の情勢を見ながら、来年度に向けて研修親睦旅行を検討してまいります。

## トピックス

## 「コールガンダー」練習再開!

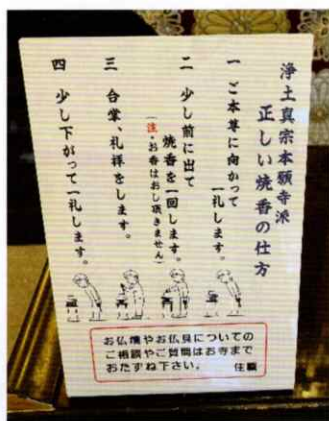
コロナ禍のため長らく活動を休止していましたが、九月から参加希望者三十名で練習を再開しています。現在、新井満さん作曲の「千の風になつて」「この街で」の二曲を練習中です。

皆様の前で発表できるのを楽しみに、毎月第二火曜日午後一時半から練習を重ねています。

## — 参拝時の「焼香」について —

浄土真宗本願寺派の  
正しい焼香の仕方!

- 一、ご本尊に向かって一礼します。
- 二、少し前に出て焼香を一回します。  
(注: お香は押し頂けません)
- 三、合掌、礼拝をします。
- 四、少し下がって一礼します。



参拝ホールに右のような案内がありますので参考にしてください。

## — 住職から —

敬念寺の門信徒会組織を構成する「地区お世話人」ですが、高齢等で引退されている地区が増えている現状にあります。

現在、後任補充に向けて鋭意努力中ですが、世帯構成の変化等から難儀しております。

お世話人不在地区の門徒の皆様におかれましては、後任補充について何分のご理解ご協力をお願い申し上げます。

## 地区お世話人の仕事

- 一、担当地区門徒の掌握(異動、戸主名、住所などの変更の報告)
- 二、寺報「敬念寺だより」・法語カレンダーの各戸配布
- 三、門信徒会費の収納と護寺協力金への協力依頼

## — 敬念寺から本山へ —

## 「絹糸献納基金」について

次頁故山下幸治様追悼記事の弔辞の中で触れられています。故人は平成元年から三十二年間絹糸献納を続けられ、その後は篤いお心を「基金」として託されて、敬念寺から本山への献上として現在に続いております。

◎左記既号に関連記事掲載

百二十六号四頁

百三十一号三頁

百三十四号四頁



## 故山下幸治様追悼記事

敬念寺責任役員・門徒総代並びに門信徒会相談役の山下幸治様におかれましては、去る九月七日八十九歳の天寿を全うされ、往生の素懷をとげられました。

山下様は敬念寺開山六十周年記念事業として進められた会館・庫裏建設事業等の役員並びに宗教法人敬念寺の役員の重責を担ってこられました。

九月十日に敬念寺本堂で執り行われたご葬儀には、千原門信徒会長他役員が参列させていただきまし

た。また、ご葬儀には本山・西本願寺内事部部长石丸克也様が参列され

本山からの「弔慰状」が伝達されました。

他に広島県備後教区岡寄秀恵教務所長様も参列され、山下様のご遺徳が偲ばれました。



## 弔 辞

白露の候、宗教法人敬念寺責任役員・門徒総代、並びに敬念寺門信徒会相談役であられた、故山下幸治様のご葬儀にあたり、金松山・

敬念寺門信徒を代表して、哀悼のことばを申し上げます。

山下幸治様は、敬念寺の開山六十周年記念事業として進められた平成五年の会館・庫裏の建設事業、平成十年の本堂屋根の破風屋根への全面改修事業等に、役員として取り組まれると共に、多額の御懇志を寄贈されて両事業に多大な貢献をされました。

またその後も、お寺への篤いお心は永代経御懇志に寄せられて敬念寺に贈られました。

加えて、平成二十二年には敬念寺門徒総代に就任され、平成二十七年からは責任役員に選任され、これまで十二年の長きに亘り、前住職・前坊守様ならびに現住職・坊守様を支えられて敬念寺のためにお尽くし下さり、また私ども門信徒会の相談役として今日までご指導戴きましたご功績は誠に大なるものがあり、当山の歴史にその名を永く残すものであります。

その上なお、敬念寺ならびに敬念寺門信徒会に尊いご遺志金を戴き、厚く御礼申し上げます。

また、山下幸治様はご本山の西本願寺にも、長年に亘る御流蘇絹糸の献上という多大な貢献をされ、平成三十一年には本願寺御門主から直接に表彰状と記念品を授与されるという栄誉に与られました。

その御流蘇絹糸は、本願寺御影堂

の宗祖御真影であられる親鸞聖人御木像の念珠房に編まれるもので、毎年の御流蘇の儀で用いられます。絹糸献上は、山下幸治様が絹糸業界に携わられた業務経験を活かされて、平成元年から三十年の長きに亘り篤志により続けられました。その篤いお心は基金として託され、敬念寺から本山への献上として現在に引き継がれています。

山下幸治様の人となりは、高い志をお持ちの中にあつて、奥ゆかしい温厚な紳士であり、その優しいお人柄から多くの方々から慕われました。

また家庭菜園や園芸にも親しまれ、特に長年に亘って鶯草の花を育成され、毎年八月上旬には開花した鶯草の鉢をお寺に届けられ、早朝連続参拝への参拝者の眼を楽しませて下さいました。此の後、凛とした佇まいで真っ白な花をつける鶯草を見るたびに、優しい人格者であられた山下さんのご遺徳を思い起こすことと思ひます。

いま尊いご生涯を終えられ、阿弥陀如来様のお浄土に赴かれることは、寂しさ一入であります。のちに残る私共が、当山の益々の隆昌に励み、またお念仏のみ教えが人々の心の支えとなるよう教化伝道に一層の努力をすることが、山下幸治様のお心にお応えする道だと思ひます。

このうえは、お浄土よりご遺族

並びに当山の行く先を照護戴きますよう念じ、門信徒を代表してのお別れの言葉といたします。

令和四年九月十日

敬念寺門信徒会

会長 千原博幸



(山下さんが丹精込められた鶯草の鉢)



(本山からの表彰状 H31.1.11)



(御門主との記念写真 H31.1.11)



## トピックス

## — 本山へ今年も絹糸献納 —

平成元年から続く本山への絹糸献納ですが、今年も十月十二日に行われました。

この絹糸は、本山の親鸞聖人御真影の念珠房として毎年使われるもので、平成元年から本山の御下命により、敬念寺が献納しています。門徒総代の故山下幸治様が長らく物心両面で携わってこられました。高齡を理由に退かれ篤いお心をお寺に託し、一昨年から千原博幸さん(門信徒会長)が担当使者となり、本山に赴き献納してまいりました。(二・三頁に関連記事)



本山に献納する  
千原さん(4.10.12)

令和4年度  
報恩講法要のご案内

— 今年最後の法要です。おさそい合わせてお参り下さい —

◆日時 令和四年十一月十三日(日) 午前十時から

◆日程 (開始十分前には入堂御着席ください。)

○受付 九時三十分～九時五十分

○会場 本堂

○報恩講法要 (正信念仏偈・和讃) 十時～十時四十分

○法話 十時四十分～十二時

講師 赤川浄友先生(東京都 本願寺布教使)

講題 「大悲無倦常照我」～遇えて良かった～

○お斎(お食事) 本年も提供無しとします。

\*御酒と参拝記念品をお渡しいたします。

◆報恩講協賛 (本年も限定して実施します。)

● マスクを着用してご参拝ください。

## 門信徒会費・護寺協力金納入の御礼

今年度の門信徒会費につきまして、皆様にそれぞれご配慮いただきありがとうございます。また、財務基盤強化のため平成二十八年度に新設され、七年目となった「護寺協力金」については、担当のお世話人様には毎年の説明とお願いに大変なご苦労をおかけいたしました。

今年度もお陰様で、大変多くの皆様方のご理解をいただき、七十二万円余(十月十日現在)の尊いお心を賜りました。

ご協力下さった門信徒の皆様並びにお力添えいただきましたお世話人様に厚く御礼申し上げます。

この浄財は引き続き、「護寺基本金」に積み立てて今後の大規模営繕・大型法要費用等に備えてまいります。

ありがとうございます。

門信徒会会長 千原 博幸  
財務委員長 西山 周治

## 令和5年回忌表

(あなたのお家は?)

1周忌	令和4年
3回忌	令和3年
7回忌	平成29年
13回忌	平成23年
17回忌	平成19年
23回忌	平成13年
27回忌	平成9年
33回忌	平成3年
37回忌	昭和62年
50回忌	昭和49年
100回忌	大正13年

(上記を参考にご予定ください。)